

安田町総合振興計画後期基本計画策定にあたって

住民一人ひとりが主役となった

住民目線による

対話と協働のまちづくりを目指して



令和7年3月 安田町長 黒岩 之浩

安田町では、令和2年3月に安田町総合振興計画を策定し、「共に生き 未来につなぐ 安田町～みんなで創る 共生空間～」を基本理念として、5年間の前期基本計画期間中、農業振興対策、子育て支援の充実、「多目的交流センターなかやま」の整備、「集落活動センターやすだ」の開設、「対話と協働」による魅力あふれるまちづくりなどの施策を計画的かつ着実に推進してきました。

この間、新型コロナウイルス感染症の脅威、世界情勢の悪化に伴う原油価格及び物価高騰、能登半島地震などの大規模災害発生など、本町を取り巻く社会経済状況は大きく変容しています。

こうした社会状況への対応や前期基本計画の5年間の取組の検証を踏まえ、令和11年度までの5年間の計画期間とする安田町総合振興計画後期基本計画を第3期安田町まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体として策定しました。

今後より一層進行する人口減少の課題への対応として、移住・定住促進の取組強化や町の基幹産業である農業振興対策、魅力あふれるまちづくりの推進を進め、持続可能なまちづくりを実現できるよう努めてまいります。引き続き、住民の皆さまには安田町の発展のため、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、安田町総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、議論いただきましたまちづくり協働委員会の委員の皆さまをはじめ、町議会議員の皆さま、住民アンケート調査を通じて貴重なご意見を寄せいただきました住民の皆さまに心より感謝を申し上げご挨拶いたします。